

事業所名

まいる一む放課後こども教室 ジャンプ

支援プログラム

作成日

2025 年

2 月

8 日

法人（事業所）理念		「療育の世界に新しい道を」 すべての人々が分け隔てなく成長し、心身ともに「健康」をはぐくむ環境を創る						
支援方針		療育を通して今と将来の「安心」を提供し、親の愛を信じ、愛情をもって療育に没頭する						
営業時間		平日	13 時	30 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり なし
		土・祝日	10 時	0 分から	16 時	0 分まで		
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	生活状態の維持改善、生活習慣や生活リズムの形成及び基本的な生活スキルの獲得。 ・健康状態を把握して健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出すことを支援する。 ・睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する。 ・身の回りを清潔にし、食事、衣類の着脱、排泄等の生活に必要な基本的な技能を獲得できるよう支援する。 ・個人の特性を理解した上で、年齢相応の生活・行動が実施できるように家庭と連携を取り、安定した自立を目指す。						
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上、及び保有する感覚の総合的な活用。 ・模倣訓練、集団行動、ストレッチなど様々な運動を通して、体を動かす楽しさを味わえるようにする。 ・模倣やボディイメージができるよう、少しずつ体を動かすことに慣らし、その中で反射神経や粗大運動面の育成を図る。 ・保有する視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、道具の扱いや運動を通して様々な感覚を養っていく。						
	認知・行動	認知の発達と行動の習得、空間・時間、数等の概念形成の習得及び対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得。 ・様々な道具に触れ、体験することで視覚、聴覚、触覚などの感覚を活性化させ、発達を促す支援を行う。 ・自立・就労に向け必要なスキルを実体験型で経験することで、体得できるよう支援する。						
	言語コミュニケーション	言語の形成と活用、コミュニケーションの基礎的能力の向上、及びコミュニケーション手段の選択と活用。 ・具体的な事物や体験から言葉の意味を結びつけるなど、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。 ・指差し、身振り、サイン等を用いて、環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。 ・文字、記号、絵カード、機器等を活用し、環境の理解と意思の伝達が円滑にできるよう支援する。						
	人間関係社会性	職員や他者とのかかわりを通して、やり取りすることの楽しさや社会的マナーを身につけられるよう支援する。 ・遊びの中からルールを学び、社会性を身につけていく。 ・一人遊びから協同遊びへの支援。 ・就労に必要なスキル、所作、行動などを身につけていけるよう支援する。						
家族支援		事業所内面談により成長の基盤となる家庭支援を安定・充実させるための相談援助を行う。 保護者会等(不定期開催)で支援のポイントをレクチャーする。 保護者同士が交流する機会を設ける。			移行支援		個々のニーズに応じて、学校等の関係機関との連携を図り、支援内容の情報共有を行う。	
地域支援・地域連携		地域の放課後等デイサービス連絡会などの情報共有の場へ参加し、連携を図る。			職員の質の向上		職員研修を実施し、支援力の向上を図る。 支援前後の会議で情報共有を行うことで統一した支援を行う。	

主な行事等

お仕事体験イベント、夏祭り、調理イベント、公共機関を使っての外出イベントなどの実施。
保護者総会、保護者面談などの実施。